

とちぎ夢大地応援団活動報告（11月1日実施）

「佐野市 多田地区」

佐野市多田地区の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が11月1日、応援団員16名、地元柴田保全会員9名の合計25名が参加して、耕作放棄地の草刈りを行いました。

旧田沼町の国道293号線沿いにある同地区は、昨年から地区内の耕作放棄地の解消に取り組み始めました。昨年は灌木の伐採や草刈りを応援団員の手を借りて実施。その後も保全会員たちが草刈り等を行い、さらには今春応援団活動で土水路を整備するなどして、約4haの放棄地の内1.5haを耕作可能地に蘇らせました。今回の応援団による草刈りは、残りの放棄地2.5haで行われました。

作業後の交流会では、毛利会長が「昨年夢大地応援団活動を行って、耕作放棄地の草が刈り払われきれいになったのを見て、保全会員の意識が変わった。これから花を植えたりしてみんなに見てもらえる所にしていきたい。今後も応援をよろしく」と語っていました。



開会式（左端が毛利柴田保全会長）



県農政部の職員 9 名も応援団員として参加、草刈りに汗を流しました



約 2 時間半の作業できれいに草が刈り払われました



昼食後の応援団員と地元の人たちとの交流会のようす